

新津市美術館で非核平和絵画展を開催

市では、戦争を知らない世代の子どもたちをはじめ、多くの人々に戦争の悲惨さと生命・平和の尊さを学んでもらおうと、広島市平和記念資料館所蔵の『市民が描いた原爆の絵』(三十枚)および、『サダコと折り鶴ポスター』(二十六枚)による非核平和絵画展を開催します。

『市民が描いた原爆の絵』は、NHK広島放送局が「市民の手

で原爆の絵を残そう」と呼びかけ、寄せられた二千二百二十五枚のうちの三十枚で、体験者だけが描くことのできる真実味と生々しい迫力で原爆の悲惨さを伝えていきます。

『サダコと折り鶴ポスター』は、二歳で被爆し、十年後に白血病で亡くなった佐々木禎子さんの一生を通して原爆の被害と平和の大切さを伝えるポスターです。

恒久平和を願う家庭や職場で黙とうを

広島と長崎に原爆が投下され戦争が終わってから今年で五十八年になります。原爆や戦争で亡くなられた人の霊を慰め、恒久平和を願って黙とうされるようお願いいたします(各一分間)。

- ・ 8月6日(水)の午前8時15分
- ・ 8月9日(土)の午前11時2分
- ・ 8月15日(金)の正午

絵画展についてのお問い合わせは… 企画調整課 広報秘書係(内線332)へ。

●とき 八月五日(火)～二十一日(金)
午前十時～午後五時

ただし、入場は午後四時三十分まで
十五日(木)および十五日(金)は、午後七時
まで閉館(ただし、入場は午後六時三十分まで)

●ところ 新津市美術館(入場無料)



(写真は上から)
「教師と子どもの碑」
「原爆の子の像」

平成十五年度非核平和事業 非核平和絵画展

～「新津市環境基本計画」と一緒に考えよう、私たちの暮らし～

市ではこのように取り組みを進めていきます!



6月1日号から2回にわたり、「共生」「循環」「地球」「参加」の4つの基本目標を中心に「新津市環境基本計画」の概要を掲載してきました。市では、「里山と田園の恵みに育まれる緑の風薫るまち」を次世代に受け継いでいくために、次のような新しく動き出した施策をはじめ、さまざまな環境施策を進めていきます。

- ① 里山保全** 「里山散策会」や「炭焼き体験」などをこれからも行っていくとともに、新津丘陵を保安林に編入するなどの具体的協議を行います。
- ② ふれあえる河川に** 河川にもっと親しむための阿賀野川水辺プラザ整備が進んでいます。
- ③ 講師の派遣を支援** 子どもたちの自然への関心を高めるため、総合的な学習などへ講師派遣の支援を始めました。
- ④ 食品ごみの堆肥化実験** 新潟薬科大学などと共同で小・中学校の給食から出る食品廃棄物の堆肥化実験を始めました。これは焼却するごみを減らすだけでなく、寒冷地において有効な微生物を解析するとともに、できた堆肥を地元農家で使用し安全な作物の供給を図ろうとするものです。
- ⑤ 新エネルギーの研究** 新潟薬科大学と民間企業の共同で、バイオを活用した新エネルギーの研究を進める予定です。



里山散策会で里山の魅力再発見



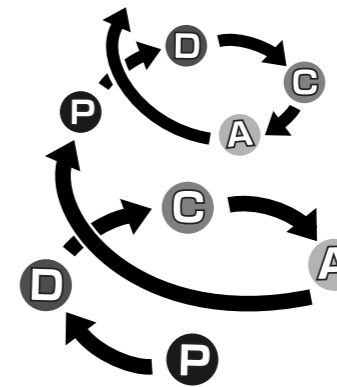
総合的な学習で、講師と野鳥観察



食品ごみの堆肥化実験

着実に推進し、効果を上げるために

- ・ 右図のようなPDCAサイクルを基本に、各段階に応じた進行管理をして、環境負荷の軽減や管理レベルの向上など継続的な改善を図っていきます。
- ・ 市民や事業者、関係機関の理解と協力を得るため、計画の内容や主旨などについて広く広報に努めます。
- ・ 市民の皆さんがこの計画の点検や評価を行い、提言できる仕組みなども検討していきます。



- P Plan (計画)**
●環境基本計画
- D Do (施策の展開)**
●市民・事業者・行政の行動
- C Check (進捗状況の把握)**
●達成状況調査
●モニタリング
- A Action (見直し)**
●評価・課題のまとめ
●計画の見直し

市民生活課 環境衛生係(内線232)

※環境基本計画概要版は市民生活課窓口で配布しているほか、市のホームページからも閲覧できます。

新津の「今」を伝えます

新津市内の各世帯に配布されている『広報にいつ』では、この欄に市内業者などの広告を掲載していますが、インターネット版『広報にいつ(PDFファイル)』では市からのお知らせなどを載せています。

好きです! きれいなまち・新津

ポイ捨てしな宣言!!



新津市内では、空き缶やタバコの吸い殻、ガムなどのポイ捨てが、条例により禁じられています。
※市民と市内通行者に適用

違反者には 指導・勧告・命令
…最終的には**5万円以下の罰金**

市民生活課
環境衛生係
☎24 - 2111
内線232